

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

サステナビリティに関する情報開示の考え方

基本的な考え方

森永乳業グループは10年先を見据えた「森永乳業グループ10年ビジョン」を2019年に制定し、「『食のおいしさ・楽しさ』と『健康・栄養』を両立した企業へ」「世界で独自の存在感を発揮できるグローバル企業へ」「サステナブルな社会の実現に貢献し続ける企業へ」を当社グループのありたい姿と決めました。この考えのもと、2022年3月期までの中期経営計画における3つの基本方針のひとつに「経営理念実現に向けたESGを重視した経営の実践」を掲げ、7つの重要取組課題を策定しKPIを設定しました。

森永乳業グループは、これまで「CSRは事業活動そのもの」という考えのもと事業を推進してまいりましたが、今後は「サステナブルな社会の実現」に貢献し続けるよう事業活動を推進していきます。その中でもステークホルダーである、お客さま・お取引先・地域社会・株主投資家の皆さま、従業員とのコミュニケーションは、世の中の変化を知り、社会に対して森永乳業がどのような価値を提供していけるかの、道しるべとして重要だと考えています。

コミュニケーションの方法として、統合報告書ならびにサステナビリティデータブック、ウェブサイトを通じて、森永乳業の財務・非財務情報の開示を行っています。情報開示を基に、ステークホルダーの皆さまとの継続的な対話・評価を行い、当社の事業活動に活かしていきます。

開示の形式

統合報告書

株主・投資家向けに、2019年度より統合報告書を発行しています。

企業価値の向上と持続的な成長に向けた当社グループの考え方・取り組みを紹介しています。



WEB

▶ <https://www.morinagamilk.co.jp/ir/library/annual.html>

サステナビリティデータブック（本データブック）

調査機関向けに、2018年度よりサステナビリティレポートおよびデータブックの内容を、GRIスタンダードに沿った内容にしています。

主に、環境・社会・ガバナンスの取り組み、KPIを中心に開示します。



ウェブサイト

森永乳業では、財務情報を「IR情報」、非財務情報（環境・社会・ガバナンス）を「森永乳業のサステナビリティ」にて公開しています。ウェブの特性を活かして、随時最新の情報に更新し、ステークホルダーの皆さまが必要とし、満足していただける情報提供に努めています。



WEB

▶ <https://www.morinagamilk.co.jp/>

〈目次〉

〉 サステナビリティに関する情報開示の
考え方

- 編集方針
- 会社情報
- コーポレートミッション
- 新型コロナウイルス感染症への対応と
影響
- 森永乳業のサステナビリティ
- 7つの重要取組課題
 - 健康・栄養
 - 環境
 - 人権
 - 供給
 - 次世代育成
 - 人財育成
 - コーポレート・ガバナンス

- 方針等
- 第三者保証
- 国連グローバル・コンパクト対照表
- GRIスタンダード対照表

参考としたガイドライン

以下のガイドラインを参考にサステナビリティの取り組みを含む統合的な情報開示を行っています。

- ・国際統合報告フレームワーク
- ・価値協創ガイダンス
- ・SASBスタンダード
- ・GRIスタンダード
- ・国連グローバル・コンパクト COP (Communication on Progress) 方針
- ・ISO26000